

文化・芸術

《名画の扉》

大川美術館企画展から

本日から、大川美術館では開館30周年を記念した企画展の第2弾「大川美術館ベストコレクション」が始まりました。今回は、その一室をご紹介します。こちらの展示室ではパブロ・ピカソの油絵、素描、版画、陶器を中心に展示しています。また、ピカソと同じくスペインのカタルーニャ出身の画家アントニ・クラベやピカソとともにキュビズムの発展に貢献したジョルジュ・ブラックらの作品も一緒にご鑑賞いただけます。

本日から、大川美術館の主軸画家である松本竣介は、ピカソから強く影響を受けています。竣介や野田英夫を主軸としながら、彼らと関係のあった画家や影響を与えた画家の作品を収集し、多岐にわたるコレクションを形成した当館創設者・大川栄二。この企画展では大川の作品への思いがうかがい知れる言葉もあわせて紹介しています。

「名画の扉」欄でベストコレクション展の各展示室の作品を毎週紹介していきますので、お楽しみに。

大川美術館コレクション

(池田)

「ヨーロッパ近代絵画」
ピカソを中心に」

展示室風景

